



2019年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年6月3日

上場会社名 ティーライフ株式会社
 コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 伸司
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

四半期報告書提出予定日 2019年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期第3四半期の連結業績(2018年8月1日～2019年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第3四半期	6,811	21.7	197	11.9	219	7.1	155	44.1
2018年7月期第3四半期	5,595	0.6	223	27.1	236	35.3	278	15.4

(注) 包括利益 2019年7月期第3四半期 154百万円 (45.1%) 2018年7月期第3四半期 281百万円 (16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第3四半期	36.60	
2018年7月期第3四半期	65.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年7月期第3四半期	6,271	4,509	71.9	1,061.17
2018年7月期	6,006	4,470	74.4	1,051.79

(参考) 自己資本 2019年7月期第3四半期 4,509百万円 2018年7月期 4,470百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等になっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期		17.00		17.00	34.00
2019年7月期		10.00			
2019年7月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年7月期の連結業績予想(2018年8月1日～2019年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する当期 純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,571	17.6	352	25.1	257	39.1	60.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社Lifeit 、 除外 社 (社名)

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年7月期3Q	4,250,000 株	2018年7月期	4,250,000 株
期末自己株式数	2019年7月期3Q	97 株	2018年7月期	96 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年7月期3Q	4,249,903 株	2018年7月期3Q	4,249,904 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年7月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益と雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移するものの、米中貿易摩擦や中国・欧州経済の減速等の影響により、先行き不透明な状況が続いてまいりました。

小売、卸売業界におきましては、人手不足による人件費や物流費の上昇、原材料価格の高騰、それに伴う価格転嫁が消費マインドを押し下げるなど、厳しい状況が続いてまいりました。

このような環境のなか、当社グループ(当社及び連結子会社)は引続き「差別化戦略の推進・将来への布石・強固な経営基盤の構築」を経営方針として掲げ、特定市場でトップシェアを狙うNO.1商品や独自性のあるオンリーワン商品の開発に取り組むとともに、他社にないサービス、顧客との密度の高いコミュニケーションにより、競争優位を基礎とした経営基盤作りに努めてまいりました。特に、小売業界において重要な物流業務について、入荷、検収及び出荷業務の内製化とともに、他社の物流業務の受託を開始し、袋井センターの有効活用及び物流コストのコントロール可能な体制を整備してまいりました。また、2018年8月1日にインターネット通販を運営する株式会社Lifeitを子会社化し、EC市場での更なる競争力の強化を図るとともに、グループ間における通販プラットフォームや運営ノウハウの共有等によるグループ間シナジーの創出に取り組んでまいりました。さらに、海外展開においては、台湾に次ぐ拠点として、2018年11月2日に中国(上海)に子会社を設立し、アジア圏での営業体制の整備及び新たな販路開拓に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,811百万円(前年同四半期比21.7%増)となりました。

損益面では、営業利益は197百万円(同11.9%減)、経常利益は219百万円(同7.1%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期において、コラムジャパン株式会社の吸収合併に伴い、同社から引き継いだ税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の計上により税金負担が一時的に低かったため、当第3四半期累計期間の税金負担が前年同期と比べて増加した結果、155百万円(同44.1%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

当社は、報告セグメント「不動産賃貸事業」において、賃貸以外への事業範囲の拡大を進めており、同事業の資産を活用した物流業務の請負等を開始しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「プロパティ事業」に変更いたしました。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

(小売事業)

小売事業におきましては、「ダイエットプーアール茶」、「メタボメ茶」等の主力商品の健康茶、「チョウ活宣言®活性フローラ」、第3類医薬品「ティアホワイト」等のサプリメント、基礎化粧品の「tea tea(ティアティア)」を中心に展開するほか、静岡県産の茶ノ実油を配合したオールインワンシャンプー「hugm(ハグム)」、ルイボスティーを独自製法で酸化防止剤の代わりに使用した「ルイボスワイン」等の独自性の高い商品や、従来の商品を機能性表示食品に改良した「ピントー一番ゴールド」を発売し、商品力の強化に取り組んでまいりました。2018年8月1日付で子会社化した株式会社Lifeitにおいて、ベビーグッズ等子育て関連やガーデン用品等の専門性の高いECサイトを展開し、各店舗ごとの品揃え拡充や催事に合わせた販促強化により集客力向上を図るとともに、グループ間でのノウハウ・商材の共有を進め、シナジー向上に努めてまいりました。海外販売においては、台湾を中心にアジア圏にて、現地インターネットサイト・SNS・ポップアップストアへの出店により販路拡大に取り組むとともに、現地取材でのお客様との交流会等の実施によりリピート率の向上に注力してまいりました。また、新たな海外拠点として、2018年11月2日に、中国(上海)に子会社を設立し、営業体制の整備を進めてまいりました。

この結果、売上高は4,629百万円(前年同四半期比15.9%増)、セグメント損失は、顧客開拓に係る広告宣伝費を積極投資したこと、また、配送料の値上げの影響等により、77百万円(前年同四半期は129百万円の利益)となりました。

(卸売事業)

卸売事業では、主力の北欧寝具ブランド「Danfill(ダンフィル)」に加え、高麗人参エキスを配合したサプリメント「J's Kami高麗」や「熟成発酵濃縮黒にんにくゼリー」等の美容・健康関連商品をテレビショッピングを中心に積極展開してまいりました。小売店向けにおいては、キャラクター雑貨の「コポー」、キッチン雑貨のスチームケース「ルクエ」等の主力商品のほか、ギフト用セットや取引先のニーズに合わせたOEM商品の拡充、春夏向けに接触冷感生地を使用したクールアイテムを追加投入してまいりました。また、国内外の展示会への出展により、販路拡大にも努めてまいりました。

この結果、売上高は2,031百万円（前年同四半期比31.9%増）、セグメント利益は148百万円（同216.8%増）となりました。

（プロパティ事業）

袋井センターを活用したプロパティ事業では、専任の営業部門の設置により営業力の強化を図り、賃貸エリアの拡大及び物流受託業務先の開拓に注力してまいりました。

この結果、売上高は150百万円（前年同四半期比148.7%増）、セグメント利益は122百万円（同136.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、6,271百万円（前連結会計年度末比265百万円増）となりました。

流動資産の増加（同142百万円増）は、主に現金及び預金が315百万円減少したものの、たな卸資産が254百万円、受取手形及び売掛金が176百万円増加したことによるものであります。

固定資産の増加（同123百万円増）は、主にのれんが126百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1,761百万円（前連結会計年度末比225百万円増）となりました。

流動負債の増加（同371百万円増）は、主に買掛金が174百万円、その他が112百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少（同145百万円減）は、主に長期借入金が146百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、4,509百万円（前連結会計年度末比39百万円増）となり、この結果、自己資本比率は71.9%となりました。

純資産の増加は、主に利益剰余金が40百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年9月3日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,833,012	1,517,809
受取手形及び売掛金	691,851	868,181
有価証券	28,000	-
たな卸資産	639,563	894,116
その他	70,725	126,991
貸倒引当金	△11,574	△13,431
流動資産合計	3,251,578	3,393,667
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,469,435	1,469,435
その他(純額)	486,979	511,222
有形固定資産合計	1,956,415	1,980,658
無形固定資産		
のれん	-	126,205
その他	58,505	62,407
無形固定資産合計	58,505	188,612
投資その他の資産		
投資有価証券	240,085	220,949
その他	510,529	491,624
貸倒引当金	△11,106	△4,306
投資その他の資産合計	739,508	708,267
固定資産合計	2,754,429	2,877,539
資産合計	6,006,008	6,271,206
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,089	355,326
1年内返済予定の長期借入金	195,996	212,329
未払法人税等	18,818	51,549
賞与引当金	34,690	85,673
役員賞与引当金	15,405	-
その他	359,872	472,254
流動負債合計	805,871	1,177,133
固定負債		
長期借入金	468,016	321,019
退職給付に係る負債	65,586	66,663
その他	196,489	196,489
固定負債合計	730,091	584,171
負債合計	1,535,962	1,761,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,625	356,625
資本剰余金	326,625	326,625
利益剰余金	3,771,584	3,812,418
自己株式	△102	△103
株主資本合計	4,454,732	4,495,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,266	13,811
為替換算調整勘定	47	526
その他の包括利益累計額合計	15,313	14,337
純資産合計	4,470,045	4,509,901
負債純資産合計	6,006,008	6,271,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)
売上高	5,595,679	6,811,934
売上原価	1,988,370	2,901,868
売上総利益	3,607,308	3,910,065
販売費及び一般管理費	3,383,402	3,712,764
営業利益	223,906	197,301
営業外収益		
受取利息	938	1,362
受取配当金	285	307
デリバティブ評価益	5,062	12,242
償却債権取立益	5,557	175
その他	8,260	11,006
営業外収益合計	20,105	25,093
営業外費用		
支払利息	378	1,399
行政処分対応費	5,394	-
その他	1,925	1,382
営業外費用合計	7,698	2,781
経常利益	236,313	219,613
特別利益		
固定資産売却益	-	499
保険解約返戻金	852	20,416
受取保険金	-	3,000
特別利益合計	852	23,915
特別損失		
固定資産除却損	329	4,561
特別損失合計	329	4,561
税金等調整前四半期純利益	236,836	238,967
法人税等	△41,443	83,386
四半期純利益	278,279	155,580
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,279	155,580

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)
四半期純利益	278,279	155,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,296	△1,454
為替換算調整勘定	152	478
その他の包括利益合計	3,449	△976
四半期包括利益	281,729	154,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,729	154,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社L i f e i tの全株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。また、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第2四半期連結会計期間において、特萊芙(上海)貿易有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	プロパティ事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,995,123	1,540,121	60,433	5,595,679	—	5,595,679
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	527	—	561	△561	—
計	3,995,157	1,540,649	60,433	5,596,241	△561	5,595,679
セグメント利益	129,210	46,771	51,838	227,820	△3,913	223,906

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,913千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	プロパティ事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,629,942	2,031,721	150,271	6,811,934	—	6,811,934
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	1,149	1,498	2,749	△2,749	—
計	4,630,042	2,032,870	151,770	6,814,683	△2,749	6,811,934
セグメント利益又は損 失(△)	△77,068	148,174	122,586	193,692	3,609	197,301

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,609千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、報告セグメント「不動産賃貸事業」において、保有する不動産の有効活用並びに収益化を目的として、賃貸以外へ事業範囲の拡大を進めており、物流業務の請負等を開始しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「不動産賃貸事業」から、「プロパティ事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの名称に合わせて作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。